

APEC 女性と経済フォーラム (WEF)
女性と経済に関するハイレベル政策対話 (HLPD) 高木政務官ステートメント
2016年6月30日

【初めに】

○議長、ありがとうございます。

○我が国は、APEC を通じた経済分野での女性活躍に関する協力を重要と考え、これまでも多くの貢献を行うとともに、国内でも取組を進めてまいりました。

【日本における女性活躍推進の加速】

○我が国では、女性活躍を成長戦略の中核として、最重要課題に据えています。この3年間で、女性の就業者数が約100万人増え、また、上場企業の女性役員数は、3年間で2倍近く増え、特に昨年は、前年から4割も増えるなど、女性活躍は大きなうねりとなっています。

○本日のテーマとなっている女性の経済的統合への障壁を取り除き、女性の活躍を推進する我が国の最近の取組を4点、ご紹介します。

○第一に、昨年12月、男女共同参画に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため「第4次男女共同参画基本計画」を閣議決定しました。本計画では、男性中心の働き方などを前提とする労働慣行の変革や、女性の参画拡大に向けた女性採用・登用の推進等の取組を強調しています。さらに、同計画は、71の成果目標を掲げており、第4次計画そのものが、ゴール・アンド・タイムテーブル方式のポジティブ・アクションとして機能します。

○第二に、4月からは、採用から登用に至る自社の女性活躍に関する状況を把握・分析し、これらを踏まえた数値目標を含めた自主的な行動計画を策定し、公表することを大企業に義務付ける「女性活躍推進法」が全面施行されました。これは、これまでにない踏み込んだポジティブ・アクションの仕組みであり、我が国は、雇用の分野において新たな段階へと歩みを進め始めました。

○第三に、同法に基づき、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランスを進める企業のインセンティブとして、本年3月、我が国政府は、国の調達において、約5兆円規模を視野に、ワーク・ライフ・バランス等を推進する企業を加点評価する指針を決定しました。これにより、東京オリンピック・パラリンピックや民間企業等の調達においても、CSR推進の観点等も考慮しつつ、同様の取組への働きかけや啓発等を進めていきます。

○第四に、我が国では昨年6月より、女性活躍の視点を毎年各府省の概算要求に反映させるために、次年度以降重点的に取り組むべき事項について「女性活躍加速のための重点方針」

を策定することと致しました。

【安倍政権の国際的な取組】

○次に、我が国の国際的な取組についても、3点ご紹介します。

○第一に、APECにおいても、我が国は「女性のリーダーシップの向上」に焦点を当てたプロジェクトを2件推進しています。女性の社会進出、特に、管理職割合の向上や役員登用が企業の成長にもたらす効果は各エコノミー共通の関心事項であり、これらのプロジェクトの着実な推進を通じて、APECにおける意識醸成、普及・啓発が進むことを期待します。

○第二に、我が国は、世界で女性が輝く社会を実現するため、2014年から2年続けて国際女性会議（WAW!）を開催しております。昨年は42か国、8国際機関から約150名のリーダーたちが「女性と経済」を始めとする様々な課題について包括的に議論し、正式な国連文書として成果文書「WAW! To Do 2015」を発出しました。今年も、12月13日、14日の開催を予定しております。

○第三に、5月末に開催したG7伊勢志摩サミット及び関係閣僚会合における女性の活躍についての議論をご紹介します。

男女共同参画と女性活躍の視点をすべての政策分野で反映する「主流化」の重要性は、持続可能な開発目標（SDGs）の中でも認識されています。SDGs策定後初めてのG7サミット開催国として、我が国は、伊勢志摩サミットと全ての関係閣僚会合で女性の活躍推進に向けたイニシアティブを主導しました。

具体的には、持続可能、包摂的、並びに、公平な成長及び平和のための行動指針「女性の能力開花のためのG7行動指針」を策定し、教育や訓練を通じた支援の重要性を強調しました。

また、自然科学分野における女性の活躍推進のため「女性理系キャリア促進のためのイニシアティブ（WINDS）」を策定しました（参考10）。加えて、安倍総理から、2016～2018年度の3年間で、約5000人の女性行政官等の人材育成、約5万人の女子生徒の学習環境の改善を実施する旨表明しました。

【締め言葉】

○以上ご紹介した日本の取組、そしてその考え方は、本日お集まりの皆様にも、共感頂けるものと信じております。今後も引き続き、APEC、そして国連を始めとする様々な場を通じて、APECメンバーエコノミー、民間セクター、市民社会、国際機関と連携します。また、あらゆる機会を捉えて、好事例を共有し、女性の活躍推進と男女共同参画の実現に取り組んでいく所存です。

ご静聴ありがとうございました。